

このたびはポケットデジメータ /DM-600A をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用にあたっては本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。お読みになった後は、大切に保管してください。

安全にご使用いただくために

本器を安全にご使用いただくため、取扱説明書に記載されている警告、注意の内容は必ず厳守してください。

警告

この表示は、その内容を守らずに取扱いを誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う危険の状態が生じる可能性があることを示しています。

- 本器またはテストリードに損傷がある場合は使用しないでください。
- 各機能で定められた最大定格入力値を超える電圧、電流入力は行わないでください。
- 電池蓋を解放した状態で使用しないでください。
- 電池を交換する時は、測定回路からテストリードを外して行ってください。
- 測定中は、テストリードのツバよりテストピン側を持たないでください。
- 測定中は他のファンクションへの切替えを行わないでください。
- 本器や手が濡れた状態で使用しないでください。




注意

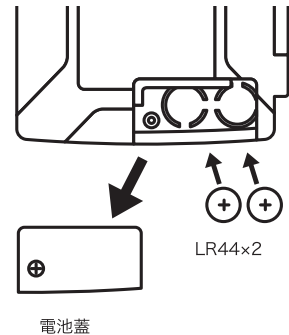
この表示は、その内容を守らずに使用者が取扱いを誤った場合に、軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険の状態が生じる可能性があることを示しています。

- トランスや大電流路などの強磁界が発生している場所、無線機などの強電界が発生している場所では、正常な測定ができない場合があります。
- 乾電池は付属していません。使用時は新しい電池をご用意ください。
- 使用しない時はモードダイヤルをオフにしてください。

電池交換方法

LCD表示部に電池マーク「」が表示されたら裏面の電池蓋のネジを外し、電池を交換してください。
+側が上になります。

使用電池: LR44×2

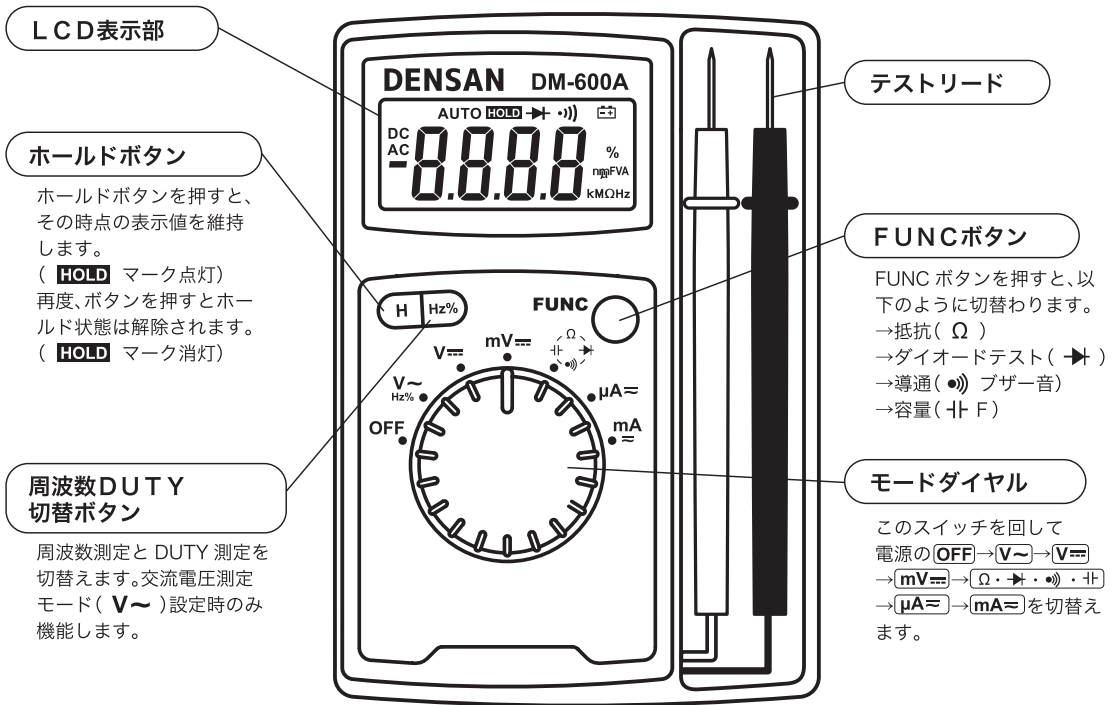


電池交換は、必ず電源をオフにしてから行ってください。
電池交換の際は必ず2個共交換してください。

特長

- ポケットサイズで10機能
- 電圧測定範囲が広い(直流:600V、交流:600V)
- オートレンジ
- データホールド機能
- オートパワーオフ機能(無操作約30分で自動オフ)
- 電池電圧低下表示機能付
- 安全規格:IEC610101(準拠) CATII 600V CATIII 300V

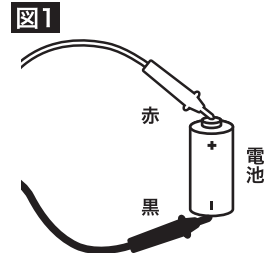
本体



測定方法

1. 直流電圧測定

- ①モードダイヤルを **V=**、**mV=** に設定します。
- ②被測定回路のマイナス側に黒のテストリードを、プラス側に赤のテストリードを接触させます。(図1参照)
- ③表示値を読み取ります。
- ④測定後、被測定回路から赤・黒のテストリードを離します。
 ※ **V=** と **mV=** は測定する電圧の大きさにより切替えてください。



2. 交流電圧測定

- ①モードダイヤルを **V~** に設定します。
- ②被測定回路に赤・黒のテストリードをそれぞれ接触させます。(図2参照)
- ③表示値を読み取ります。
- ④測定後、被測定回路から赤・黒のテストリードを離します。



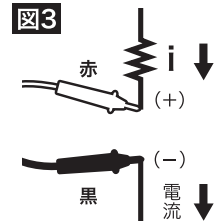
3. 周波数/DUTY測定

- ①モードダイヤルを **V~** に設定します。
- ②被測定回路に赤・黒のテストリードをそれぞれ接触させます。
 周波数 DUTY 切替ボタンで周波数(Hz)と DUTY(%)を切替えます。
- ③表示値を読み取ります。
- ④測定後、被測定回路から赤・黒のテストリードを離します。
 ※周波数測定時の入力信号
 10Hz ~ 99.9kHz : 3Vrms 以上
 100kHz ~ 200kHz : 10Vrms 以上
 ※DUTY 測定時の入力信号
 周波数 : 10Hz ~ 10kHz
 入力電圧 : 5Vrms ~ 30Vrms

測定方法

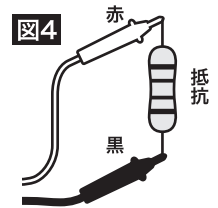
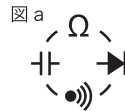
4. 電流測定

- ①モードダイヤルを μA 、 mA に設定します。
- ②FUNC ボタンで直流電流(DC)または交流電流(AC)を選択します。
- ③被測定回路に赤・黒のテストリードを負荷と直列になるように接触します。(図3参照)
DC：被測定回路のマイナス側に黒のテストリードを、プラス側に赤のテストリードを接触します。
AC：被測定回路と直列に赤・黒のテストリードをそれぞれ接触させます。
- ④表示値を読み取ります。
- ⑤測定後、被測定回路から赤・黒のテストリードを離します。
※ μA と mA は測定する電流の大きさにより切替えてください。



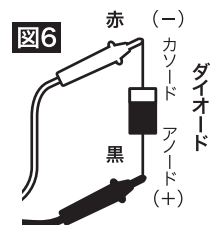
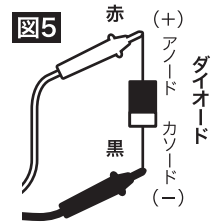
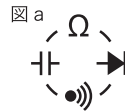
5. 抵抗測定

- ①モードダイヤルを Ω / \rightarrow / \bullet / \vdash に設定します。
- ②FUNC ボタンで Ω を選択します。
- ③被測定物に赤・黒のテストリードをそれぞれ接触させます。(図4参照)
- ④表示値を読み取ります。
- ⑤測定後、被測定物から赤・黒のテストリードを離します。
※活線及び電位のある被測定物には使用できません。
高抵抗を測定する場合、30秒程度の測定時間がかかります。



6. ダイオードテスト

- ①モードダイヤルを Ω / \rightarrow / \bullet / \vdash に設定します。
- ②FUNC ボタンで \rightarrow を選択します。
- ③ダイオードのカソード側に黒のテストリードを、アノード側に赤のテストリードを接触させます。(図5参照)
- ④ダイオードの順方向電圧降下の値が表示されます。
「0」表示の場合は、ダイオードが短絡しています。
「OL」表示の場合は、ダイオードが開放しています。
- ⑤ダイオードのカソード側に赤のテストリードを、アノード側に黒のテストリードを接触させます。(図6参照)
- ⑥ダイオードの逆方向電圧降下の値が表示されます。
「OL」表示の場合、ダイオードは正常です。
他の表示の場合、短絡等により不良です。
- ⑦測定後、被測定物から赤・黒のテストリードを離します。



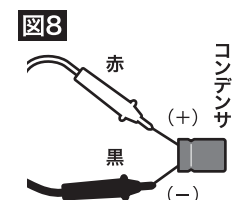
7. 導通チェック

- ①モードダイヤルを Ω / \rightarrow / \bullet / \vdash に設定します。
- ②FUNC ボタンで \bullet を選択します。
- ③被測定回路または電線に赤・黒のテストリードをそれぞれ接触させます。(図7参照)
- ④導通がある場合はブザーが鳴ります。非導通の場合は無音です。
- ⑤測定後、被測定物から赤・黒のテストリードを離します。



8. 容量測定

- ①モードダイヤルを Ω / \rightarrow / \bullet / \vdash に設定します。
- ②FUNC ボタンで \vdash を選択します。
- ③被測定物に赤・黒のテストリードをそれぞれ接触させます。(図8参照)
- ④表示値を読み取ります。
- ⑤測定後、被測定物から赤・黒のテストリードを離します。
※高容量を測定する場合、30秒程度の測定時間がかかります。



仕様

●測定範囲・精度

機能	レンジ	分解能	精度	
直流電圧	400 mV	0.1 mV	±(0.8%rdg+5dgt)	
	4 V	1 mV		
	40 V	10 mV		
	400 V	100 mV		
	600 V	1 V		
交流電圧	400 mV	1 mV	±(2.0%rdg+8dgt)	
	4 V	1 mV		
	40 V	10 mV		
	400 V	100 mV		
	600 V	1 V		
抵抗	400 Ω	0.1 Ω	±(0.8%rdg+5dgt)	
	4 kΩ	1 Ω		
	40 kΩ	10 Ω		
	400 kΩ	100 Ω		
	4 MΩ	1 kΩ		
直流・交流電流	400 μA	0.1 μA	±(2.0%rdg+5dgt)	
	40 mA	10 μA		
	400 mA	100 μA		
	40 nF	0.01 nF		±(4.0%rdg+5dgt)
	400 nF	0.1 nF		
4 μF	1 nF			
40 μF	10 nF			
100 μF	100 nF	±(20%rdg+5dgt)		
周波数	10Hz-200kHz	0.01 Hz	±(1.5%rdg+5dgt)	
DUTY	2% - 99%	0.10 %	±(2.5%rdg+5dgt)	
ダイオード	開放電圧 約1.5V			
導通	約60Ω以下でブザー鳴動			

●一般仕様

- ・動作方式 : Δ-Σ方式
- ・表示 : 3.5桁 LCD表示 最大3999カウント
- ・レンジ切替 : オートレンジ
- ・サンプルレート : 3回/秒
- ・オートパワーオフ機能 : 無操作30分で電源オフ
- ・オーバーレンジ表示 : OL
- ・電池電圧低下表示機能 : 電池マーク表示
- ・電源 : LR44×2 (電池は付属していません)
- ・使用温度範囲 : 0°C~40°C 80%RH以下
- ・サイズ : 幅90×奥行18×高さ120mm
- ・質量 : 約120g

保証について

保証期間：購入日より1年間
(ただし保証期間内でも次の場合は保証できません)

- 火災・地震・水害・落雷、その他の天災地変
- 取扱説明書によらない不適切な取扱い、使用上の誤り、保管方法が原因で生じた故障、異常電圧による故障
- 分解・改造での破損
- お買い上げ後の持ち運びや輸送の間に、落下させるなど異常な衝撃が加わって生じた故障
- その他当社の責任とみなされない故障
- お買い上げ年月日の証明できる伝票等のない場合

※上記に該当する場合は有償修理となります。